

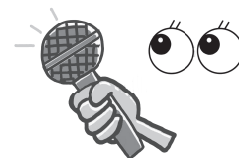
なよろ



名寄市観光キャラクター
「なよろう」



決意を一言



3 山崎 真由美 (3期)

多くの対話を通じてまちづくりがさらに前進するよう、市民の声に誠心誠意耳を傾け、議員活動に邁進したい。



1 中畠 孝幸 (1期)

今年度は宗谷本線の事業の抜本的な改善方策を示す節目の年です。大事な公共交通の維持を目指します。

これからの1年は市民の声を聴き、伝え、問題解決に挑戦し、活気あるまちづくりのために前進する決意です。



4 近藤 友美 (1期)

これまで以上に市民の皆様の声を聴く機会を増やすとともに、対話と協働を基本に議員活動を進めてまいります。



2 倉澤 宏 (2期)

駆け抜けます!



人生は選択の連続です。迷わず間違えず、目立たずひた向きに、最大の利益を得られるよう、日々を精進します。



7 今村 芳彦 (2期)

残る任期1年、地域経済の発展を後押しし、持続可能な市政運営を求め続けます。



5 水間 健詞 (1期)

平和が一番の思いと、年をとっても住み続け、名寄が終の棲家となるように知恵を出し合いたいと思います。



8 川村 幸栄 (5期)



6 谷 聡 (1期)

市民の皆様が関心を持っていること、今後の市政にとって重要なことをわかりやすく質問していきます。



11 高野美枝子(4期)

今期与えられました厚生文教常任委員、議会運営委員、消防監査を適格に務め、市民一人一人の安全安心のため頑張ります。



9 佐藤 靖(6期)

今期もあと1年。議員生活6期の集大成とすべき、介護との両立となりますが、積み重ねた経験を発揮し走り切ります。



福祉と介護の充実・健康と医療の充実・子育て支援の充実・教育の充実を目指し、安全安心のまちづくりを進める。



10 高橋 伸典(6期)

残り1年!!全力で



14 東川 孝義(3期)

3期目に掲げた目標の推進に向けて、市民との対話をさらに深め、未来に夢あるまちづくりに積極的に取り組みます。



12 清水 一夫(2期)

任期残り1年となりました。名寄市のため、市民のため、常に課題をもって前向きに頑張る所存です。



15 東 千春(7期)

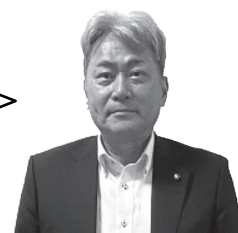
来年予定される市議選では無投票又は定員割れとならないよう、仕事の魅力をアピールできればと思います。

議員の意識改革と資質向上に引き続き取り組むとともに、次世代の政治参加に必要な環境整備等を進めていきます。



16 山田 典幸(4期)

今まで積み重ねてきた経験・知識を活かし、名寄市の課題に向き合い、掲げた目標をさらに推進していきます。



13 遠藤 隆男(2期)

「代表質問」ってなあに？

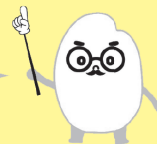


Q

先生、「一般質問」と「代表質問」はどう違うの？

A

代表質問は会派を代表して行う質問なんだよ。
市の方針や予算について、会派の考えを市長などに聞く大切な機会なんだ。



市政クラブ

ひがしかわ たかよし

東川 孝義 議員



市民ネット

たかの み え こ

高野 美枝子 議員



市長の5期目に臨む基本姿勢について

Q 3つの重点施策について、各種施策推進の考え方は。

A 人づくり・人への投資では、将来的にこのまちに残り、または戻ってきて働き、若者世代が地域社会の担い手として活躍する循環を創出したい。本市の強みである基幹産業の農業と交通の要衝としての立地的な強みを活かす施策の推進。財政基盤の強化では、補助金・負担金のガイドラインを策定し一定の基準を設ける。職員定数の適正化も検討すべき課題である。

物流拠点化構想具現化へ向けての取組は

Q 北・北海道物流拠点検討協議会設立後の議論経過と具現化に向けた取組は。

A 本構想は単なる物流の中継基地ではなく、道北地域住民の買い物環境と生活、産業を支える重要な基盤。6月下旬の採択結果にもよるが、国土交通省の補助事業を活用し、官民連携で共同輸送の可能性を深掘りする。

中学校部活動の地域展開の取組は

Q 9月から実施される部活動の地域展開は、地域全体で未来を担う子どもたちを支える大きな転換期。どのような形で心身の成長に寄与させたいのか。

A 地域の競技団体などが受け皿となり部活動を担ってもらう。学校と地域の連携が円滑に進むよう、必要な支援に努め、平日も多くのスポーツが活動できるよう課題解決に取り組む。

名寄市の産業と仕事の創出と地域振興

Q 風連地区へのインターチェンジの必要性について問う。

A 名寄市を縦貫する高規格道路。現行制度では地域活性化インターチェンジとなり、整備費、維持費を自治体が負担する仕組みとなっている。居住誘導区域を設定している風連地区にとってもインターチェンジが設置される方が望ましいと考えており、実現可能なスキームについて研究する。

地域医療の充実

Q 東病院の移転断念と今後については。

A 「名寄東病院新病院基本構想・基本計画」で移転を検討したが実現は困難と判断し断念した。現在の敷地、建物を活用し、必要な機能の再整備を進める等、多角的な視点で再検討する。当面は施設維持のため、喫緊の課題である外来棟の防水改修、設備更新のため今年度実施設計を行う。

「名寄市立小中学校のあり方検討委員会」の役割

Q 少子化、多様化が進み未来を見据えた整備が急務。検討委員会ではどう検討していくのか。

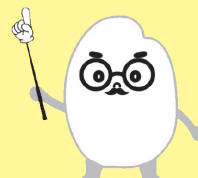
A 教育環境の整備、地域の実情に応じた持続可能で魅力ある学校のあり方について検討する。12月をめどに検討委員会から答申を受ける予定。年度内に小中学校の適正規模、配置について基本方針を策定。議論状況は市ホームページで周知。

もち



名寄市議会議員を
目指す中学三年生

議会ナビ先生



議会のことなら
なんでも聞いて！

これってどういう意味？議会ことば ぎかいナビ先生がやさしく解説！

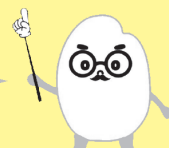
「一般質問」ってなあに？



先生、定例会のときに行う「一般質問」ってなあに？

A

議会から市への質問や提言なんだよ。
6月の定例会では6月16日、17日の2日間に9人の議員が
質問に立ったんだ。



市政クラブ

えんどう たかお

遠藤 隆男 議員



市政クラブ

しみず かずお

清水 一夫 議員



健康づくりのための特定健診

Q 健診の重要性と受診しないことによるデメリットは。

A 早期発見・介入により、生活習慣病の予防、疾病進行を防ぎ、自分の体の状態を知ることで健康意識を高め、生活習慣改善へのきっかけとなる。

受診しない場合のリスクとして、疾病の発見が遅れることで、病状が進行するリスクが高まる。生活習慣病は、自覚症状がないまま重篤な疾患に至る可能性がある。

交流人口の維持・拡大について

Q 冬季スポーツ拠点化の各種大会が市外宿泊を利用して。選手の負担と本市経済効果が少しでも上がるように町内会館を紹介し、選手が市内に宿泊できるように検討してはいかがか。

A 今の選手は体調管理等のため、一人部屋を希望する方が多い。

特定健診の受診率を向上させよう

Q 特定健診の受診状況について伺う。

A 令和7年度の受診状況は、暫定値で、40歳から74歳までの対象者数 2,859 人に対し、受診者数が 1,000 人、受診率は 35.0%程度。40歳代が約 27.0%、50歳代が約 26.6%、60歳代が約 37.5%、70～74歳が 34.3%。市独自で対象を拡大している30歳代は約 7.9%で、若い世代の受診率が低い傾向にある。

市民の安心・安全について

Q 昨年11月9日の住民参加型の避難訓練の成果と本年度はこの訓練を実施するか伺う。

A ①市民は避難移動経路と時間的尺度を把握し②避難情報伝達は市民携帯電話端末等に伝達され、その体験により防災意識の向上となった③避難所開設は開設手段や課題等について把握した。本年度訓練は、冬季避難所開設を予定している。水害を想定しての訓練は予定していない。



市政クラブ
こんどう ともみ
近藤 友美 議員



中心市街地の空き店舗対策について

- Q 空き店舗対策支援の内容とその実績は。
- A 企業活力強化支援事業と創業支援事業において、中心市街地での利用には補助上限額の加算を行い、9件中5件の利用があった。

中心市街地のアーケードの老朽化について

- Q アーケードの安全確保に対する支援と今後のあり方について伺う。
- A 維持管理に係る経費の一部を支援している。今後は、組合員にも確認し、相談、支援を行う。

名寄まちなか未来宣言について

- Q 今現在の取り組みは。
- A 株式会社まちづくり名寄等、関係団体と意見交換を行い、回遊促進策やリピーター獲得に向けた効果的な仕組みづくりに取り組んでいく。



市民ネット
やまざき まゆみ
山崎 真由美 議員



まちづくりにつながる人づくりについて

- Q 持続可能なまちづくりに主権者教育は欠かせない。全国には子ども議会を開催し、意見表明や市政参加の機会を提供している自治体も多い。仮称「名寄市子ども議会」開催を提案する。見解を伺う。
- A 声をあげにくい子どもも含め、多様な意見を聴きながら計画策定等行っている。「子ども議会」という形式にとられることなく意見聴取の機会を設けていきたい。

行財政改革による財政基盤の強化について

- Q 人口減少の中、財政基盤の強化を目指さず上では、公共施設等総合管理計画の見直しは不可欠であるが、今後のスケジュールは。また、市民周知や市民意見の集約は。
- A 名寄市総合計画（第3次）の策定と連携し、今年度5月1日に推進本部会議、15日に実施部員会議を開催した。公共施設データベースを精査し、庁舎内で議論を行ったのち、市民周知と市民意見の集約を行っていく。



公明
たかはし しんすけ
高橋 伸典 議員



市民後見人制度の活用促進を

- Q 認知症高齢者と障がい者は、1,777万人と増加が課題の中で、市民後見人制度の必要性和導入の検討は。
- A 個人負担が大きいため市民後見人の養成より、組織として後見業務が継続できることを重視し、成年後見センター事業を受託している社会福祉協議会の成年後見センターを活用する。

ナフサ不足による影響は

- Q ナフサ不足による資材搬入の遅延の影響は。
- A 「名寄市ずっと住まいる応援事業」の資材遅延の影響はない。



市政クラブ
みずま けんじ
水間 健詞 議員



行政サービスコストの見える化—コスト把握と現状の情報整理

- Q 「選択と集中」とは「何を守り、何をどのような考え方で見直していくのか」を共有することが重要。行政サービスの価値や負担が十分に伝わっているか。
- A 効率的・効果的な行政運営のため、これまでも「行政評価」を導入し意図・目的・成果指標・直接事業費など公表している。

行政サービスコストの見える化—コストと価値の情報共有について

- Q 行政サービスの役割・価値・判断基準を市民と共有することで、市民理解のもとで議論を進める考えは。
- A 類似団体との比較、時系列比較などを通じて市民が自分ごととして伝わる見せ方が必要と思う。市民と価値を共有できる方法を研究したい。



日本共産党
かわむら ゆきえ
川村 幸栄 議員



自衛隊への個人情報提供にかかわって

Q 自衛隊への個人情報提供で、北海道弁護士会連合会から3月26日付で道内全市町村に送られてきた意見書の受け止めは。

A 意見書は、自衛隊への個人情報提供に関する法的な解釈が論じられている。自治体によって様々な解釈がされている状況の中、同連合会が求める考え方を道内自治体に要請したものと認識。

Q 当該市民本人の同意なしで自衛隊に情報を提供していることについては、憲法13条で保障されているプライバシー権の重要な要素であり、自治体はその適正管理が求められるが。

A 本市の取り扱いは、法令等の範囲内において適正に行っているものであり、法令上の問題は生じていない。

聞こえが困難になってきている方への支援について

Q 耳鼻咽喉科での受診、検査の啓もうについて、また高額な補聴器の購入支援についての考えは。

A 保健センターや地域包括支援センターで行う健康相談、健康教室、介護予防事業などを活用し、加齢性難聴に関する普及啓発と必要に応じ医療機関への受診につなげ生活の質を落とさない取り組みとする。安定的な財源確保も難しく、独自助成事業の実施は困難と考えている。

詳しい内容はホームページをご覧ください



名寄市議会



<http://www.city.nayoro.lg.jp/assembly/>



市政クラブ
たに さとし
谷 聡 議員



ミマツビル跡地に建設を予定している学生寮について

Q 運営形態、食事、家賃の見込みを早めに示す必要があるのでは。

A 事業主体及び経営は株式会社まちづくり名寄。事業計画等はしかるべき時期に株式会社まちづくり名寄から公表される。

市職員定数見直しは

Q 「見直し」では危機感が伝わらない。「削減」とすべきでは。

A あらゆる事案をゼロベースから見直し、行財政改革を進めなければならない。

物流防災拠点化構想について

Q 名寄市民にとってのメリットは。

A 新たな雇用と産業の創出、地場産品の競争力向上、防災強化。



共生なよろ
なかはた たかゆき
中島 孝幸 議員



JR宗谷本線の存続策に関して「上下分離方式」とは

Q JR北海道が列車の運行を担い、自治体等が線路や施設の保有、維持管理を担うという「上下分離方式」とは具体的にどのようなもので、それに対する評価は。

A 「上下分離方式」の形態はさまざま、JR北海道からは方向性が示されたのみで、費用負担割合、運営主体の構成など詳細な情報は示されていない。それに対する評価を明らかにするのは困難な状況にある。

今後の協議に向けて

Q 宗谷本線活性化推進協議会の本年度の活動は。

A 宗谷本線を取り巻く情勢を踏まえつつ、鉄道や地域交通に関する専門的な知見を地域で共有することは、地域住民の理解促進と機運醸成に資するものと考えている。例年実施の事業のほか、講演会を実施することについて検討を進めていく。



老人クラブの活動

よ ね た あ さ お
米 田 朝 夫

旭栄区町内会にお世話になって35年、その間、町内会活動と言えば班長の経験のみでしたが、高齢になり町内会活動に携わるようになり、町内の皆さんと接触が増す中で人とのつながりがいかに大切かと実感しています。そのつながりの一端を担っているのが町内会であり、老人クラブ(旭栄クラブ)会長(吉川繁雄氏)です。

活動内容は、年度当初の総会と懇親会、5月には観桜会、6月から9月までは月2回の茶話会を行い、テレビ体操のDVDを活用しての体操で始まり、ゲームや間違い探し等を行い楽しんでいます。10月は会館の畑で育てた根菜を使用しての食事会、11月は日帰り研修旅行、12月は忘年会と計画、実行しており、会員の皆さんは楽しみにし、元気に参加して相互の親睦を図っています。楽しみが明日の希望にもつながってほしいと思っています。



「賢い消費者」を目指し

い が ら し み な こ
五 十 嵐 美 奈 子

名寄消費者協会で事務局を担当しています。

名寄消費者協会は、間もなく設立から60周年の大きな節目を迎えます。この間、くらしの講座、消費生活展、料理講習会、みそ作り、せっけん作り、マイバッグ運動一などに組みながら、「賢い消費者」を合い言葉に活動してきました。

私は直接かかわっていませんでしたが、今でも事あるごとに話題になっていることがあります。それは2018年9月、過去札幌市で開催されていた「北海道消費者大会」について、約4年間にわたり北海道消費者協会に地方開催を要請し、その後、全道各協会の理解もあり初めて名寄市開催が決まり、市内各機関・企業の協力を得ながら準備を進めていましたが、開催日前日に胆振東部地震が発生、道内全体がブラックアウトとなり、急遽中止を決定せざるを得なかったことを役員の皆さんから機会あるごとに聞き、約半年に及んだ準備が地震によって露と消えるなど、改めて自然災害の怖さを痛感させられる出来事となったそうです。

全道各消費者協会共通の問題として、最近は会員不足と高齢化があり、解散した協会も増えてきました。名寄協会も同様な課題があり、満足に協会活動を続けられない状況もありますが、計画した事業をしっかりとこなし、協会の目標であります一人でも多くの市民の皆さんが「賢い消費者」であり続けるよう努めていきます。

表紙写真の紹介



「道の駅でひまわりの植栽をしました」

風連中央小学校の3～6年生と、風連中学校の全学年合わせて約100人で道の駅にひまわりの苗を植えました。名寄観光まちづくり協会、市、旭川開発建設部が主催の事業です。夏休みが始まる頃に開花を迎える品種で、5月中旬から中央小の児童が種から苗に育てました。きれいに咲くひまわりが、名寄を訪れる観光客を温かく迎え、笑顔を届けてくれることを児童生徒も願っています。



議会報特別委員会

委 員 長	高 橋 村
副 委 員 長	今 村 伸 幸
委 員	谷 村 芳 彦
委 員	水 崎 健 詞
委 員	山 崎 真 由 美
委 員	中 島 孝 幸



名寄市議会だよりは再生紙を使用しています。
資源を大切に、ごみの減量・リサイクルにご協力ください。